

健康寿命の延伸
と
行政・医師会の役割

神奈川県参与・元日本医師会常任理事
内田健夫

健康寿命と日本人の健康観

- 超高齢化社会の光と影
- 健康寿命と平均寿命のギャップ
- 医療への満足度
 - 高い医療レベルと低い満足度
- 生活の満足度

超高齢多死社会と健康寿命

- 社会的側面

 - 現役世代が手薄に：面倒が見切れない
 - 元気で長生き：高齢者パワーの活用も

- 財政的側面

 - 財政的に苦しい：医療費、介護費が著増
 - 個人負担も増大

- 疾病予防、介護予防が重要に

自助・共助・公助

- 自助
: 自らを助ける 健康に留意する
- 共助
: お互いに助けあう
- 公助
: 公的なシステムや援助

食べる・動く・参加する

- 食べる
 - : 栄養、嚥下、作る、
- 動く
 - : 楽しみ、喜び、日常の中で
- 社会と関わる
 - 元気な高齢者に社会参加、社会貢献
 - 「気」を入れる

一次予防と教育

- 食育：学校栄養士の配置
- 運動
- ワクチン政策：神奈川版ACIP
- 若年層における禁煙教育の成果

- 高齢者：健康教育、保健指導
認知症、転倒・骨折、生活習慣病、誤嚥等

二次予防：早期発見・早期治療

- 特定健診・保健指導
- メガデータの集積、解析、利活用
- がん検診：5大がん（肺、胃、大腸、乳、子宮）
前立腺がん等
肝炎、骨粗鬆症、認知症、歯科口腔検診等

三次予防：重症化抑止とリハビリ

- 医療提供・連携体制の整備
- 機能分化と連携
- 役割の明確化と関係機能の強化
- 情報管理と共有化：メガデータ対策
- 地域完結、多施設・多職種との連携

行政の現状と役割

- 縦割り行政
- はっきりしない責任体制：異動、短い担当
- 事なかれ、なれ合い、

- 企画・運営・予算
- マネージメント・コーディネート
：進捗管理と評価
- 保健所、保健師の役割

医師会の現状と役割

- 開業医は地域医療のキーパーソン
- 行政のパートナーかつカウンターパートナー
- 政策提言・実施・監視・評価
- 「待ちから町へ」「病気から健康に」

神奈川の課題

- 行政と関係者の連携
 - 現状の把握と分析
 - 課題の抽出と政策決定
 - 優先順位の決定
 - 市・区・町・村単位での事業展開の具体化
 - 重点化、階層化とPDCAサイクル
-
- 地域医療再生基金の活用
 - 誰が どこで 何を いつまでに